

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【「SDGs 徳島モデル」循環とくしま・持続社会の実装戦略】

推進当初

申請者	徳島県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	321,951千円 (65,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・徳島県に開設されている消費者庁新未来創造戦略本部の消費者政策や国際的な業務と連携し、全国の消費者行政・消費者教育の進化に寄与する。 ・「とくしまエシカル農産物」の生産・供給体制の構築を推進し、エシカル消費に対する意識の醸成はもとより、県内農業の振興も図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○消費者庁新拠点を核としたネットワーク構築 ・消費者教育の海外への情報発信、海外大学等との交流会実施などによる国内外のネットワーク構築 (委託費、事務費等) 16,650千円 ・消費者庁、県内高等学校、事業者等との連携による安全・安心な地域づくりの担い手育成 (委託費、事務費等) 19,024千円 ○「とくしまエシカル農産物」の消費者へのプロモーション活動の展開と販路拡大、産地づくりの支援 ・生産者の裾野拡大に向けた啓発活動、研修の実施、相談窓口の設置 (委託費、補助金、事務費等) 11,500千円	 海外大学等とのオンライン交流  エシカル農産物コーナー	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①国際ネットワーク会議・国際フォーラム参加者数 (+1,400人) ②エシカル農産物の生産面積 (+790ha)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/

事業概要【「ひと」と「地域」をつなぐ！「徳島ファン」創出・拡大事業】

推進当初

申請者	徳島県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	888,415千円（190,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・伝統文化や徳島ならではの魅力を通じて、全国に暮らす人々との「新たなつながり」が育まれ、徳島の「ファン」が広がり、「人の絆」の力で地域課題の解決が図られる、持続可能で魅力ある地域社会の形成を図る。 ・本県の歴史的・文化的魅力の共有により、多くの若者が多様な価値観を身につけ、郷土への理解や愛着を深めることで、「ふるさと徳島」への誇りを抱き、地域の担い手として活躍する社会を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○阿波おどり等を活用した「新たな人の流れ」創出 ・阿波おどり、阿波人形浄瑠璃等を活用したプロモーション、デジタル技術・ツールを駆使した体験型イベントや情報発信 (委託費、報償費、需用費、役務費等) 14,453千円 ○女性・若者と地域をつなぐ人材育成 ・農山漁村における女性・若者リーダー育成講座開催、魅力発信 (委託費、補助金、需用費、報償費等) 65,004千円 ○「文化の森総合公園」を拠点とした本県文化の発信 ・文化資料のデジタルアーカイブ構築による文化発信 (委託費、賃借料) 11,721千円 ・国内最古級恐竜化石の発見に併せた移動展示や発掘体験イベント (委託費、役務費、需用費、賃借料等) 26,112千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「徳島ファンバンク」へのファン登録者数（+60人） ②「とくしまフューチャーアカデミー」修了者数（+135人） ③文化の森総合公園文化施設入館者数（+4万人） ④農林水産業リカレント教育修了者数（+1,040人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/

事業概要【未来技術活用「徳島モデル」創出事業】

推進当初

申請者	徳島県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	551,448千円（130,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・「5G」「AI」「IoT」「ビッグデータ」といった未来技術を積極的に活用した「Society5.0」の実現により、経済的発展と社会課題の解決を両立し、快適で活力に満ちた質の高い生活を目指す。 ・また、農林水産分野において、AIやIoTの導入によるさらなる技術革新を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○Society5.0実現モデルの集積・構築 「ローカル5G」環境を活用し、生産現場の自動化、自動制御による生産性向上等、スマートファクトリー推進に向けた実証や研究開発、新たなビジネス創出の支援 (委託費、補助金、事務費等) 81,500千円 ○農林水産分野における未来技術実装促進 データ利活用のためのシステム構築・発展、データ解析等の実施、また、民間企業、関係団体等との連携により実装を図り、農林水産分野のスマート化につなげる (委託費、補助金、事務費等) 48,500千円  ビッグデータ活用・分析によるスマート農業（いちご栽培）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 5G活用事例数（+15件） ② スマート化導入経営体数（+82経営体）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/

事業概要【「徳島木のおもちゃ美術館（仮称）」を核とした「徳島ならではの」の県産材需要拡大戦略】

推進当初

申請者	徳島県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	399,452千円（93,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・豊かな森林資源の活用を図るため、新たな需要の創出を図る ・木育拠点「徳島木のおもちゃ美術館」を活用し、県産材の魅力発信による森林資源の循環利用に繋げる ・情報発信や川下における人材育成など官民一体となった木づかい運動を展開する ・県外海外において、展示商談会やマッチングによる販路拡大を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企業や団体、建築士等様々な分野での木育人材の育成 ・研修会の開催（委託料）2,500千円 ○木育啓発媒体の制作や普及促進に向けた環境整備 ・木育キットの制作等（委託料等）5,000千円 ○県民総ぐるみでの木づかい活動への支援 ・県民会議活動（負担金等）5,500千円 ○「徳島木のおもちゃ美術館」を核とした木育活動の推進 ・イベント等の開催（委託料等）69,700千円 ○県内や県外・海外における県産材の販路拡大への取り組み ・連携モデル構築、展示会等出展（委託料等）10,300千円		 研修会の開催  木づかい活動の実施  美術館を核とした木育推進  展示会への出展
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県産材消費量（+22.5万m3） ②県産材輸出額（+7.8億円） ③木育インストラクター養成人数（+76人）		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/

事業概要【社会・経済状況の変化に適応する「とくしま農林水産業」生産力強化戦略】

推進当初

申請者	徳島県ほか 5 自治体※	初回採択回	令和 3 年度第 1 回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,039,796千円 (210,452千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・広域的な産地間連携等による園芸産地の再編・強化や、先端技術を活用した超省力化・高品質生産の実装等による生産性の向上 ・気候変動に適応した新品種・新技術の開発・普及 ・状況の変化に対応した新たな販売戦略の構築		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○農林水産物の生産性向上の促進 ・スマート技術の導入や産地間連携の推進 (委託費、需用費、役務費、賃借料等) 27,737千円 ○気候変動等環境変化への適応策の推進 ・新品目の栽培技術開発 (需用費、委託費、役務費、賃借料等) 11,790千円 ○状況の変化に対応した新たな販売戦略の構築 ・「TurnTable」を核とした「新たな商流」の構築・展開 (委託費、賃借料、需用費、費用弁償等79,963千円 ・海外輸出チャネルの拡充 (プロモーション) (委託費、需用費、会場使用料等) 36,820千円  国内販路開拓  海外販路開拓		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①産地リノベーションを実施した園芸産地における生産額 (+25億円) ②農林水産物の新品種・新技術の開発・導入数 (+34件) ③とくしまブランド推進機構の関与した販売金額 (+25億円) ④農林水産物等輸出金額 (+9億円)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/

※徳島県、徳島市、阿波市、北島町、藍住町、板野町の広域連携事業

事業概要【ニューノーマル時代を切り拓く「転職なき移住」推進事業】

推進当初

申請者	徳島県、美波町	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	932,756千円（202,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・「ワーケーション」や「副業・兼業」などの地域に継続的に関わっていただける人材の獲得 ・若者世代をはじめとする移住者の拡大及び戦略的な移住交流の加速化 ・移住者の受け皿となる地域産業・人材の育成、暮らしやすい社会づくりの推進		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ニューノーマル時代に対応した新たなライフスタイルの提案 ・マッチングセミナー・ワークショップ等の開催、コワーキングスペース等 受入体制強化（委託費、報酬、費用弁償、負担金等）16,937千円 ○ニーズに応じた移住・交流支援の展開 ・移住相談センター運営、移住フェア・セミナー開催（委託費、消耗品費、使用料、負担金等）40,324千円 ○ターゲットを絞った戦略的魅力発信の加速化 ・各種メディアを活用した魅力発信（委託費、事務費等）19,254千円 ○移住・交流による地域人材・産業育成の展開 ・県内外の学生や地元企業等との連携によるフィールドワーク実施・広報活動（委託費、報償費、消耗品費、賃借料等）20,616千円 ○安全・安心なダイバーシティ社会の推進 ・ダイバーシティ社会実現のための広報・交流会開催、スポーツイベント等の地域交流定着支援（委託費、補助金、事務費等）26,806千円	 「とくしま若者回帰アンバサダー」 による地域の魅力体験  阿波（徳島）のいろんな魅力を 若者目線で発信	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本県への年間移住者数＋準移住者数（＋1,030人） ②とくしまで住みたい会員数（＋500人） ③本県への本社機能誘致数（＋8社） ④デュアルスクール実施回数（＋31回）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.tokushima.lg.jp/kensei-joho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/

申請者	徳島県徳島市ほか14自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	153,920千円 (28,020千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・15市町村から成る徳島東部圏域が、官民が一体となり戦略的に取り組む仕組みを構築する ・観光コンテンツを魅力あるビジネスに成長させ、旅行者等による交流人口の拡大を図る ・観光地域づくりを推進し、圏域経済を好循環させ、持続可能な地域にする		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域固有の資源を観光資源として磨き上げ「ニューツーリズム推進事業」としてコンテンツ造成等を推進する ・情報発信・観光素材集製作費（委託費・広告宣伝費） 5,200千円 ・A T（アドベンチャートラベル）・S T（サステナブルファムツアー）の造成・磨き上げ費（委託費） 1,300千円 ・ニューツーリズム推進に係る事務費（会議費、通信運搬費、消耗品費、賃借料、印刷費・広告宣伝費・委託費） 300千円 ○住民が地域の魅力を再認識する機会の創出や、訪問者と住民との積極的な交流を促進するとともに、住民を対象とした将来の観光を担う人材を育成していくことで、住民の地域への誇りと愛着の醸成を図る ・観光満足度・住民満足度調査費（委託費） 1,500千円 ・マイクロツーリズム推進費用（委託費） 800千円 ・観光人材育成費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費） 500千円 ・観光地域まちづくりWG運営費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費） 600千円 ・シビックプライド醸成に係る事務費（会議費・通信運搬費・消耗品費・賃借料・印刷費・広告宣伝費・委託費） 200千円 ○観光アプリのデータを活用した地域一体による戦略的・効果的なデジタルマーケティングやCRMを実施することで面的DXを推進するとともに、観光デジタル人材の育成を推進する ・周遊促進に向けた企画商品開発・運営費（委託費） 1,000千円 ・観光デジタル人材の育成費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費） 500千円 ・面的DX推進に係る事務費（会議費・通信運搬費・消耗品費・賃借料・印刷費・委託費・広告宣伝費・委託費） 100千円 ○大阪・関西万博会場で徳島に興味を持った人々に徳島を来訪してもらい、さらに徳島東部をハブとして広域的な周遊・長期滞在に繋げる ・周遊コンテンツの造成費（委託費） 800千円 ・関西方面での集中プロモーション費用（広告宣伝費・委託費） 700千円 等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」	①徳島東部圏域の延べ宿泊者数（+120.8万人） ②徳島東部圏域ひとり当たり観光消費額（+26千円） ③徳島東部圏域の来訪者満足度（+4.5%） ④徳島東部圏域の住民満足度（+5.0%）	関連URL	https://www.city.tokushima.tokushim a.jp/smph/shisei/machi_keikaku/town planning/region_revitalize/mirai_senryaku/index.html



事業概要【テレワークを活用した「地域の稼ぐ力」向上計画】

推進当初

申請者	徳島県小松島市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,000千円 (9,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・テレワーク推進機関（センター）を中心とし、地方での「多様な働き方」ができる環境づくりを図る。 ・地域のコワーキングスペースと連携し「雇用型テレワーク」の候補地とした企業誘致等により、地方での新たな雇用創出を図る。 ・ハローワークや地元企業、高校とも連携したマッチングイベント等の開催により「地域の稼ぐ力」を向上させる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・テレワーカー育成の主体となる団体に対する業務委託（3,670千円） ・企業誘致促進委託（仲介委託）（3,928千円） ・各種セミナーやコミュニティイベントの開催等（152千円） ・人材のネットワークを活用し、ハローワーク等との連携による就職マッチングイベント及び地元企業とのマッチング強化支援の広報物制作等（750千円） ・地元企業と市内高校生とのマッチングイベントの開催等（500千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①テレワークにおける研修参加者のうち実際にテレワークを実施した人数（+32人） ②テレワークに関する各種セミナーへの参加者（+42人） ③テレワークの利用を主目的としたコワーキングスペースの利用登録者（+52人）	関連URL	https://www.city.komatsushima.lg.jp/docs/502578.html

事業概要【まちを将来世代につなぐプロジェクト】

推進当初

申請者	徳島県神山町	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	249,655千円 (50,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	2060年に向けて3,000人を上回る人口規模と、集落単位でバランスのとれた人口構成を実現し、住民自治が能動的に機能している、自立的で安定した「輝く農山村」を目指す。構造的な課題に対し、①すまいづくり・②ひとづくり・③しごとづくり・④循環の仕組みづくり・⑤安心な暮らしづくり・⑥関係づくりの6領域で横断的かつ総合的な取り組みを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○すまいづくり ・空き家・空き地発掘と利活用、新規賃貸物件の開発 (事業費)1,200千円 ○ひとづくり ・高校プロジェクトの展開 (魅力化、進学サポート) (事業費)2,050千円 ・防災学習を兼ねた自然体験ワークショップ(事業費) 700千円 ○しごとづくり ・中学生の地域での仕事観の醸成(事業費) 500千円 ○循環の仕組みづくり ・食農教育推進、新規就農者支援(委託費) 7,100千円 ○安心な暮らしづくり ・集落支援人材配置(研修費) 100千円 ○関係づくり ・町民向けバスツアー、視察研修、事業検証(事業費)1,400千円 ・地域メディアの開発(委託費) 450千円 ○全領域(人件費) 27,850千円、(運営経費等) 8,650千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①社会動態 +11人/年 (+55人) ②0から14歳の子ども数341人【2026年3月31日現在】(+58人) ③15から34歳の青年の数563人【2026年3月31日現在】(▲27人)	関連URL	https://www.town.kamiyama.lg.jp/ https://www.in-kamiyama.jp/ https://www.youtube.com/channel/U_C9gLFmNfmgepySFt6HNoFFw

事業概要【「グリーン社会とくしま」の実現による持続可能な地域づくり推進事業】

推進当初

申請者	徳島県ほか7自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	503,658千円(126,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	・自然エネルギー等の導入と森林吸収源対策としての森林づくりの取組の推進を図る ・環境先進県としての取組に賛同する企業や人材等の集積・移住交流を推進を図る ・次世代の「グリーン社会」を担うGX人材の育成を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○自然エネルギー等導入に向けた普及啓発・広報活動及び森林吸収源対策としての森づくりの実施 ・県産材の増産体制整備強化・利活用促進、森林緑化等の推進(委託費、補助金、需用費、役務費等) 38,380千円 ○「GX」推進に伴う県内外への魅力発信及び県外企業・人材等の誘致・交流促進モデルの実証・確立 ・「中山間地における脱炭素化パッケージ」構築に向けた取組 7,200千円 ○次世代「GX」人材育成確保に向けた環境教育等の実施 ・「とくしまGXスクール」等による環境学習・育成研修(委託費、消耗品費、報償費、賃借料等) 2,736千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本県への年間移住者数+準移住者数(+1,588人) ②地域でのGX推進に向けた協働活動実践企業・団体数(+24企業・団体) ③「とくしまエコパートナー」の協定締結企業・団体数(+29企業・団体)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/

事業概要【2つのX（GX・DX）とイノベーション創出による徳島経済飛躍事業】

推進当初

申請者	徳島県、徳島市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	781,422千円（185,700千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・GX・DXによる本県企業の競争力強化 ・海外展開の促進によるグローバル市場の獲得 ・イノベーションの創出による地域活性化		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「ジャパングループ・徳島」を中核とした「カーボンニュートラル」実現に向けた取組 ・販路拡大支援（委託料・役務費）7,200千円 ・地域産業ブランド化（委託料・役務費）18,450円 ○DXの促進による競争力の強化と海外展開支援 ・企業のDX推進支援（委託料・役務費）45,146千円 ・海外輸出支援（委託料）36,705千円 ○イノベーションの創出による産業振興 ・コンテンツ産業振興支援（委託料・負担金）10,061千円 ・創業コンテスト開催（委託料・補助金）12,000千円 ・スタートアップ支援（委託料・補助金）54,138千円	DX GX スタートアップ 地域経済を牽引する 企業の成長と新産業の創生	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①徳島県の輸出額(中小企業分)の総増加額（+159億円） ②脱炭素社会に貢献する製品の試作品数（+50個） ③デジタルトランスフォーメーション（DX）モデル創出件数（+25件） ④コンテンツ産業関連企業の増加数（+75社・者）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/

事業概要【3つの徳島県・地域連携DMOが協働する観光振興プログラム】

推進当初

申請者	徳島県ほか7自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,109,740千円 (234,840千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・県民が本県の魅力を国内外へ発信することにより、多くの観光客が訪れ、観光産業が活性化され、雇用の創出や地域経済の活性化を促進する ・県産品や豊かな食を、観光と一体となって国内外に売り込み、「徳島ファン」の増加を図る ・四国の玄関口に位置する利点を活かした関西からの旅行訪問者の増加を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○関西を主要ターゲットに周遊・滞在型観光を促進 ・誘客・周遊促進（委託費、補助金等）15,735千円 ・旅行商品造成支援（補助金）16,740千円 ○「阿波の食」を核とした魅力発信とプロモーション ・情報発信・プロモーション（委託費、需用費）12,182千円 ○徳島ならではの観光資源の魅力発信やコンテンツ開発 ・魅力発信・ブラッシュアップ（委託料・負担金）91,600千円 ・コンテンツ開発（委託料・補助金）12,162千円 ○訪日外国人増に向けた戦略的プロモーション ・クルーズ船誘致・魅力発信（委託料・消耗品費）48,462千円		 阿波おどり  祖谷のかずら橋  藍染め  DMV
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①宿泊旅行による旅行消費額（+871.27億円） ②客室稼働率（+20.7 %） ③観光情報サイト総アクセス件数（+471万件）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.tokushima.lg.jp/ken-seijoho/kenseisogo/shingikai/chijibukoku/5020160/

事業概要【SDG s 先進地域「にし阿波」における農泊観光推進プロジェクト】

推進当初

申請者	徳島県ほか4自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	379,672千円（92,840千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・SDGs先進地「にし阿波」での観光をきっかけとした関係人口・交流人口の創出を図る ・地域住民の観光関連事業等への参画を通してシビックプライドの醸成を図る ・農泊での地域住民との深い関わりによって、リピーターやにし阿波ファンを獲得し、移住や定住の増加を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○SDGsを観光全体への取り組みに展開するための重要な受け皿としての「農泊」の充実 ・新戦略への展開、進捗管理マネジメント（委託）8,000千円 ・農泊施設の受入環境整備支援（補助金）5,000千円 ○SDGsを活用した新たな国内外向け「旅行商品」のブラッシュアップ ・SDGsモデルコースへのブラッシュアップ（委託、印刷製本費、通信費、借損など）3,000千円 ○シビックプライドの醸成を通じた人材活用 ・次世代の観光／地域を支える人材の発掘及び育成事業（委託、報償費、費弁、通信費など）4,000千円 ・観光人材・資源確保につながる「移住促進いちごタウン創設」事業（委託、報償費、費弁、印刷製本費など）2,750千円 ○「世界農業遺産」である「SDGs実践の地・にし阿波」の保全・継承 ・世界農業遺産ブランド認証品販売促進（負担金）2,200千円 体験型教育旅行の誘致・受入体制の充実など  にし阿波の農山村暮らし体験を コンテンツ化 「SDGs実践の地・にし阿波」の保全・継承など  中四国地区唯一の 世界農業遺産認定地域！		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①にし阿波における農泊施設の延べ利用者数 (+4,700人) ②にし阿波における国内延べ宿泊者数（+91,000人） ③にし阿波への移住者数（+100人）		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.tokushima.lg.jp/ken-seijoho/kenseisogo/shingikai/chijibukyouku/5020160

14

※徳島県、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町の広域連携事業

申請者	徳島県	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	250,858千円（62,400千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・「“新時代のデジタルインフラ”メタバース」において、構築したプラットフォームの活用による情報発信・交流空間とし、「デジタル関係人口」を創出するとともに、メタバース上の発信により、徳島への来訪を促進する。 ・メタバースでの商談会、展示会、体験会など、徳島が誇る技術やコンテンツを、疑似体験可能とし、県内の多様な主体のビジネス展開につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○徳島の魅力に「バーチャル」に触れる、とくしまWEBパビリオンの構築及びバーチャルコンテンツの作成 ・WEBパビリオンの構築・運用 ・バーチャルコンテンツ作成（委託費）44,400千円 ○メタバースを活用した海外との交流イベントの開催 ・国際交流イベントの実施（委託費）11,000千円 ○徳島の豊かな自然や文化、産業等に「リアル」に触れる地域活性化イベントの実施 ・徳島を体感し、地元住民との交流による地域活性化イベントの開催、広報・PR経費（費用弁償、需用費、役務費、負担金等）7,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル関係人口の創出数（+7,500人） ②「とくしまバーチャルパビリオン」イベント来場者数（+65,000人） ③国際交流イベントの開催回数（+21回） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/		

事業概要【「しごと」を担い、まちを元気にする「地域活性化人材」創出事業】

推進当初

申請者	徳島県徳島市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	59,734千円 (21,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・移住施策の推進等により地域外人材を呼び込むことにより、人材を確保する ・市民協働施策等を活用しながら、より実践的な人材育成の取組を展開することで、人材のミスマッチを解消する ・多種多様な人材の創出・確保・活躍を推進する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	移住施策の促進(量的アプローチ) まちの活性化 多様な人材による地域活性化 活躍できる人材の育成(質的アプローチ) ① 地域外人材の確保・定着の促進（量的アプローチ） ・移住促進事業（委託料、報償費）6,155千円 ・ワーキングホリデープログラム事業（委託料）3,000千円 ② 企業等とのミスマッチの解消をはじめとした活躍できる人材の育成（質的アプローチ） ・市民協働や公民連携による、新たな事業や持続可能なコミュニティビジネス創出（報償費、旅費、需用費、委託料、使用料）2,878千円 ・女性・若者活躍推進事業（委託料）900千円 ③ 多様な人材を原動力とした地域活性化 ・新規創業等支援事業（補助金）7,300千円 ・創業後フォローアップ事業（委託料、使用料、需要費、報償費）195千円 ・阿波女あきんど塾出張講座（報償費、需要費）45千円 ・次世代活躍事業（報償費、旅費、需用費、使用料、負担金）1,227千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 本事業を通じた、徳島市内における新規就業・創業者数（+60人） ② 本事業を通じた、徳島市への移住者数及び徳島市の関係人口数（+60人） ③ 本事業を通じ、新たな事業やコミュニティビジネスを実施した人数（+15人）	関連URL	https://www.city.tokushima.tokushima.jp/smph/shisei/machi_keikaku/townplanning/region_revitalize/mirai_senryaku/index.html

事業概要【通過型観光から滞在型観光への推進事業～小松島市・勝浦町広域連携～】

推進当初

申請者	徳島県小松島市、勝浦町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	85,372千円 (18,325千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・滞在型観光へのシフトチェンジによる観光消費額の向上 ・観光受け入れ態勢の整備 ・年間を通じた観光コンテンツづくり ・産直市間連携と地域資源を活かした効果的な観光誘客		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・体験型観光商品の磨き上げ、情報発信、モニターツアー等の実施のための諸経費（小松島市2,400千円） ・体験型観光商品の情報発信（勝浦町605千円） ・JA東とくしまが運営する産直市や道の駅（勝浦町）への観光誘客と情報発信等に係る経費（小松島市650千円） ・小松島産はもやちめん、勝浦産みかんといった地場産品の販売促進のためのプロモーション・フェア開催に係る経費（小松島市3,300千円） ・県内外での物産や販路拡大のための展示会等の経費（ブース代、イベント開催業者への参加費・手数料、郵送料）（小松島市500千円） ・地域資源を基に、地域性を活かして付加価値の高いプラン作り及び観光客受入体制に係る商品造成、モニターツアー等の実施に係る委託料等（勝浦町550千円）（小松島市4,960千円） ・滞在型観光商品のプロモーション、観光客誘致等に係る経費（勝浦町620千円） ・小松島の産品やみなとを活用したイベントの実施、イベント開催支援に係る経費（小松島市2,940千円） ・大型客船寄港時における観光消費促進等受け入れ体制に係る経費（小松島市1,800千円）  体験型観光 コンテンツ造成  地場産品の 販売促進等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①小松島市・勝浦町の観光入り込み客数（+130,782人） ②小松島市・勝浦町の主要観光施設（あいさい広場・よってネ市・道の駅ひなの里かつら）の売上高（+101,291千円） ③小松島市・勝浦町の主要宿泊施設の延べ宿泊客数（+4,870人）		関連URL https://www.city.komatsushima.lg.jp/docs/502578.html

事業概要【子育て世代をターゲットとしたまちの魅力向上による賑わい創出事業】

推進当初

申請者	徳島県小松島市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	130,659千円 (19,265千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	～子育て世代が安心安全に過ごせる居心地の良い空間・時間づくり～ 小学校就学前の子どもを抱える世帯（20代～40代の男女と、その子ども）をターゲットとしたイベントや体験学習を通じた本市ならではの学習環境や機会の創出を行うとともに、「本港地区」エリアのランドデザインをつくりあげていく中で、親子が安心して過ごせる時間や、そこに集う親子同士が交流できる空間の創出を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・市内外で活躍するアスリートやアーティスト等の各種専門家の招へいと、体力づくりや創造性を養うための体験型学習プログラム事業の実施にかかる報酬費等 8,068千円 ・消防が実施する親子で楽しみながら参加し、子どもの応急措置等が学習できるとともに地域愛を育むイベント開催にかかる消耗品費等 172千円 ・子育て世代が交流できる市内の妊産婦を対象とした胎教コンサートや人形劇等の開催にかかる委託料等 925千円 ・学校外教育学習としてのプログラミング学習や地域と自然を学びのフィールドにするなど子どもの探究心を高める地域学習イベントのほか、STEAM教育に資する学習イベント実施にかかる委託料等 1,061千円 ・市民の定住を図るため県外相談者のみではなく県内移住者への相談対応、ニーズ把握を実施するほか、移住者を含めた市民が交流できる場づくりや子育て支援施策をまとめた各種媒体による情報発信事業にかかる委託料等 3,039千円 ・新たな移住者層や子育てしながら働ける環境づくり、ライフステージに応じた多様な働き方の支援するためのリスクリングを実施するための委託料等 6,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①近隣2市への転出者の対基準年比減少数 (+56人) ※各年比減少数の累計値 ②小松島市移住交流支援センターで受け付けた相談件数 (+66件)	関連URL	https://www.city.komatsushima.lg.jp/docs/502578.html



市内小中学生を対象に外部人材を活用した講演や体験型学習の開催



親子で参加できる消防に関するイベントの開催

事業概要【美馬市「人生100年時代」美と健康のまちづくり推進プロジェクト】

推進当初

申請者	徳島県美馬市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	20,354千円 (1,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	「人生100年時代」の到来が言われる中、幅広い市民が「人生100年時代」とは何かを知り、「人生100年時代」にふさわしい人生設計を行うとともに、100歳人生の後半（高齢期）に健康で積極的に社会に参加し、それまでに培ってきた豊かな経験やスキル、「学び直し」によって身に付けた知識などを地域社会で存分に発揮できる姿をめざす。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	ポピュレーションアプローチによる健康づくり、「学び直し」、「美」を通じた外出や社会参加の促進を通じて、100歳人生の後半（高齢期）における自己実現の達成を可能にする施策を一体的・総合的に実施する。 ○「人生100年時代」を生きるために必要な知識を身に付け、その知識を周囲に広げる「ジェロントロジー市民アンバサダー」の養成と活動支援 …ジェロントロジーワークショップ開催業務委託料 1,000千円 ○健康に関する正しい知識の普及を担う「健幸アンバサダー」の養成と活動支援 ○幅広い市民を対象とした「歩く・走る」「食べる」による健康づくり ○「美」を通じた高齢者の外出等促進 ○「学び直し」の第一歩として、また高齢期の地域との関わりの再構築の観点から、地域学である「みま学」講座の構築 ○学んだ知識や豊かな経験・スキルをアウトプットする仕組みとして、ポータルサイトの構築をはじめとしたプラットフォームの構築		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①ジェロントロジー市民アンバサダー事業を除く各交付対象事業への延べ参加者数 (+1,930人) ②ジェロントロジー市民アンバサダー年間延べ活動日数 (+4,500日)	関連URL https://www.city.mima.lg.jp/	「人生100年時代」の生き方を学び・実践   「人生100年時代」ポータルサイト  「美」を通じた高齢者外出等促進   幅広い市民を対象とした健康づくり 

事業概要【阿波かつうらブランド化事業】

推進当初

申請者	徳島県勝浦町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	52,297千円 (16,908千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・6次産業化による勝浦産農産物の価値向上をし流通経路の確保による住民の所得向上を図る。 ・地域ブランドのコンセプトを確立し情報発信することで消費促進、地域経済活性化を図る。 ・農業、商工、観光を一元化して企画、販売及び情報発信できる強い組織づくりを行い地域ビジネスへ発展させることを目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域資源発掘等の一体的な組織体制づくり/学校における商品開発実施による次世代担い手の郷土愛の醸成 ・阿波かつうらブランド構築推進等支援（委託料）6,808千円 ○ブランド化推進・PR活動実施 ・「勝浦みかん」広告PR費（委託料）2,296千円 ・ブランド推進協議会運営費（補助金）5,000千円 ・カタログ制作費（委託料）600千円 ○町内回遊型イベント等開催による観光振興 ・マルシェ開催経費（委託料）700千円 ・ARイベント運用費（委託料）1,504千円	 中学校ふるさと学習 (特産品開発)  道の駅マルシェ開催	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①道の駅取扱阿波かつうらブランド商品の販売額 (+1,500千円) ②JA取扱「勝浦みかん」の出荷量 (+300トン) ③阿波かつうらブランド商品数 (+20件) ④道の駅入込客数 (+4,000人)	関連URL	http://www.town.katsuura.lg.jp/docs/2021032900050/

事業概要【大阪・関西万博に向けPDCAサイクル加速！循環人口創出事業】

推進当初

申請者	徳島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	546,936千円（130,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・万博後を見据えたソフトレガシーとして「徳島県と外部との新たな関係性づくり」の仕組みを構築することで、イノベーションがイノベーションを呼ぶ、継続的な人の循環のエコシステムを構築する。 ・県外人口との多様な関係性を構築し、「人の出入り」の全体数を底上げし、徳島県を、様々な分野の「社会経済活動の現場」へと構造転換を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新たな誘客・関係づくりコンテンツの創出と実証 ・徳島の未来創生と万博の機運醸成へと繋げるための地域イベント (委託費) 8,000千円 ・宇宙・科学関連イベントや学校への出前授業の実施 (委託費、通信運搬費) 15,000千円 ○本県ならではのサステナブルな「食体験」コンテンツの「実装・深化」 ・徳島ならではの「食材」及び「食文化」の魅力発信イベントの開催 (委託費、賃借料、費用弁償等) 16,000千円 ○生産から消費までSDGs視点で食のイベントの実施 ・徳島県産品の「食の博覧会2024」の開催 (委託費、報償費、費用弁償) 4,000千円 ・万博を契機としたSDGs徳島グルメの開発・展開 (委託費、報償費、費用弁償) 6,500千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①循環人口の創出（循環人口率）（+28%） ②転入＋転出口の総体での増加（転出入比率は維持） (+4,029人) ③食育に関心を持っている人の割合（+9%）		（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.pref.tokushima.lg.jp/kensei-joho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/

申請者	徳島県徳島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,439千円（14,813千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・ダイバーシティと民間活力を原動力とした様々な取組と「阿波おどり」を組み合わせSDGsを自分ごととして推進する地域を確立する。 ・先駆的・実験的な取組を、多様な主体と手を組み積極的に推進することで、経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらすモデル事業を生み出す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	① SDGs推進にかかる課題である市民・企業の認識不足を解消するため、地域の伝統文化「阿波おどり」を通じた活動が、ダイバーシティの推進や持続可能性を追求していく取組であると認識できるように展開する。 ・ダイバーシティとくしま連実施経費（委託料） 3,524千円 ・持続可能な地域の伝統文化継承事業（委託料） 3,160千円 ② 企業や市民等と連携し、経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらす公民連携事業を生み出す。 ・SDGs未来都市 実現協議会運営及びプロモーション事業（委託料、補助金） ソフト：920千円 ハード：2,000千円 ・次世代学びの場構築事業費（委託料、需用費、使用料） 2,150千円 ・ダイバーシティ啓発推進事業（委託料） 1,033千円 ・SDGs推進の取組可視化事業（委託料） 1,256千円 ・公民連携事業創出に係る人材育成事業（負担金） 770千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の伝統文化の持続可能性に貢献する市民の数（+600人） ②SDGs推進に係る公民連携事業等に協賛する企業・団体数（+45社・団体） ③経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらす公民連携モデル事業の実施数（+7件）		関連URL https://www.city.tokushima.tokushima.jp/smph/shisei/machi_keikaku/townplanning/region_revitalize/mirai_senryaku/index.html

推進当初

23

事業概要【「地域のデジタル化推進拠点」創出事業】

推進当初

申請者	徳島県三好市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	44,660千円 (23,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・人流創出と魅力的な地域をつくる拠点施設にデジタル学習環境を実装・充実させ「デジタル／I T人材」等を育成する。 ・新たなサテライト企業の本市進出を誘引する環境と体制を整える。 ・「地元企業を知る機会」や「マッチング機会」等を増やすことで、地元雇用を強化する。 ・「若年層の流出抑制」や「ふるさと回帰」に資する「魅力あふれる地域」を作り上げる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○事業推進協議会の運営 (委託費) 1,100千円 ○ (仮称) 地域のデジタル化推進拠点サービス構築 ・サービス実証に伴うデータ・権利等、ソフトウェア導入監理等、デジタル教育コンテンツ (ソフトウェア) 設計・導入計画の改定等 (委託料) 1,100千円 ・ハードウェア導入監理等、デジタル教育インフラ (ハードウェア) 設計・導入計画の改定等 (委託料) 3,300千円 ・デジタル教育インフラ (ハードウェア) 導入 (備品購入費等) 11,000千円 ○デジタル教育サービスを提供する実施主体の組成支援 (委託料) 4,400千円 ○デジタル教育サービスの各プロジェクトの実証、モニタリング、効果検証、計画改定 (委託料) 2,200千円 「三好市地域利便性施設 (仮称)」にデジタル技術を実装することで、地域の魅力向上を図りながら、デジタル技術を地域で学ぶ学習支援施設として場を創出し地域のデジタル人材の輩出する。 地域利便性施設 (仮称) イメージ R5 (2023) → R6 (2024) → R7 (2025) 【1年目】 ● 推進協議会の設立 ● 計画の策定 【2年目】 ● ソフト・ハード導入・実証 ● サービス体制構築 【3年目】 ● サービス実装		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「デジタル／I T人材」等登録者数 (+60人) ②「サテライト企業」等の誘致数 (+2社) ③「地元企業」と「①人材」とのマッチング実施件数 (+110人)	関連URL	https://www.miyoshi.i-tokushima.jp/docs/88986.htm

事業概要【若者の人材循環を起点としたまちづくりプロジェクト】

推進当初

申請者	徳島県牟岐町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	26,298千円 (8,766千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・牟岐町住民、牟岐町ふるさと会員、牟岐町ゆかりの若者が、牟岐町に対する「愛郷心」を共有し、「どこにいても」まちづくりに参画できる仕組みの構築 ・牟岐町ゆかりの若者が、地域と繋がり、関わりを持ち続けられるための地域内外での受け入れ環境の整備 ・若者の人材循環を起点とした地域住民の交流やコミュニティの活性化、地域課題解決に向けた取り組みの創出		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○牟岐ゆかりの若者の「第二のふるさと」創出に繋がる事業 ・「牟岐ゆかりの若者」の受け入れ環境整備（委託料）2,000千円 ・地域から提示された課題を解決するためのコーディネート経費（委託料）2,100千円 ・セミナー等の開催経費（委託料・手数料）500千円 ○牟岐ゆかりの方など人材の交流促進に繋がる「牟岐の場」の創出 ・「牟岐の場」を起点に人材の交流促進につながる企画経費実施に係る経費（委託料及び手数料）1,800千円 ・地域課題解決を目指す企画等の実施（手数料）500千円 ○デジタル・アナログ媒体を活用した情報発信 ・情報発信経費（委託料及び手数料）1,866千円   		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分累計」の目標値	①牟岐町に滞在しながら、地域と繋がり、地域活動に参加した大学生・若手社会人の数（+30人） ②牟岐町ゆかりの若者、牟岐ふるさと会を起点に起きたプロジェクト数（+15件） ③牟岐の場創出件数（+13件） ④地域体験型のふるさと納税返礼品の登録件数（+12件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

地方創生推進タイプ (補正予算分)

事業概要【大阪・関西万博を契機とした徳島観光・経済飛躍事業】

人材育成	観光振興	ローカルイノベーション
	○	○

推進補正

申請者	徳島県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	200,000千円
事業タイプ	地方創生推進タイプ・補正予算分	事業分野	観光分野
目的（効果）	・万博開催を契機とした、観光産業の「稼げる産業」への変革 ・万博開催を契機とした、本県の強み・地域資源を活かした成長産業の世界への発信 ・観光・産業分野における人材育成		
事業概要・ 主な経費	○海外市場別の効果的なプロモーション ・市場別情報発信（委託費）60,740千円 ・情報発信媒体の充実（委託費）14,400千円 ・OTA等連携（委託費、事務費等）39,840千円 ○高付加価値なコンテンツの造成・ブラッシュアップ ・キャンペーン・商談会（委託費、需用費等）31,680千円 ・宿泊施設誘致（委託費）14,400千円 ・教育旅行誘致（委託費）4,130千円 ・航空路線誘致（委託費、報償費等）16,900千円 ○県内企業の販路開拓支援 ・出展・伴走支援（委託費・報償費等）4,470千円 ○産業（DX）人材の育成 ・講座実施（委託費・補助金）13,440千円	【大阪・関西万博の開催】 R6 3つの視点で施策を展開！ 海外市場への プロモーション コンテンツ強化・ 動線確保 産業の発信・ 人材育成 万博を契機とした観光・経済の飛躍へ！	
KPI	①年間観光消費額（+300億円） ②年間延べ外国人宿泊者数（+7.5万人） ③未来技術活用製品等研究開発支援件数（+60件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.pref.tokushima.lg.jp/kensei-joho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【うみがめ博物館「カレッタ」を拠点とした地域再生事業】

拠点当初

申請者	徳島県美波町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	639,764千円 (328,070千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分) ※R6年度はR5年度補正予算により早期執行	事業分野	観光分野
目的 (効果)	美波町の観光資源である「うみがめ博物館カレッタ」を美波町や周辺市町村、徳島県が掲げる「サステナブルツアー」の拠点として改築することにより、町全体の滞在時間と消費額の増加を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	博物館の全面リニューアルを行い、入館者数を5万人まで増やすことで町全体の来訪者数の増加を実現する。 【建築物本体工事】 建築工事費 216,437千円 【設計監理費】 設計監理費 14,164千円 【建築物と不可分な設備工事】 機械設備工事費 86,943千円 【設計監理費】 設計監理費 5,689千円 【効果促進事業の外構工事】 外構工事 4,540千円 【設計監理費】 設計監理費 297千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①サステナブルツーリズム等の参加者数 (+50人) ②博物館の入館者数 (+18,000人) ③町内宿泊者数 (+6,000人) ④新規起業者数 (+18人)	関連URL	調整中